

福島大学総合教育研究センター主催

平成23年度 「教育臨床」研修講座のご案内(申込期間延長)

後援 / 福島県教育委員会

福島大学総合教育研究センターは、平成23年度も引き続き、教員やカウンセラー等を対象にした「教育臨床」研修講座を開催いたします。この研修講座では子どもの不登校・いじめ・非行・発達障害・児童虐待等の問題行動に対する理解を深め、その対応を取り扱います。

下記の要領で多くの方が応募くださいますようご案内申し上げます。

開催期間：平成23年5月～翌年2月。ただし、8月は休み。

開催日：毎月1回、第3水曜日。A、Bクラスは15時～17時、C、D、E、Gクラスは18時～20時開講。

場所：福島大学総合教育研究センター他学内

受講対象：教員、スクールカウンセラー、臨床心理士、保健師、児童指導員、ソーシャルワーカーなど

上記の内容及び 下記クラス定員等は、変更ありません。

開講クラス・定員・講師：

Aクラス(昼間)：定員15名、青木真理教授(教育臨床)

現在関わっている学校とその周辺における事例についてグループスーパービジョンを行う。原則的に、受講者全員に事例提出を求める。

Bクラス(昼間)：定員25名、中野明德教授(学校・医療心理臨床)、他

学校生活に適応困難な事例に対して、臨床心理、教育的な視点から総合的に理解し、その解決策を検討する。

Cクラス(夜間)：定員25名、渡辺 隆教授(児童福祉臨床)

軽度発達障害と児童虐待の家族療法・家族援助に関する実践的な事例検討を行う。

Dクラス(夜間)：定員25名、生島 浩教授(非行問題・家族臨床)

不登校・いじめ・非行・障害などのある子どもとリスクを抱えた家族に関するケース・マネジメントの具体的な手法を学ぶ。

Eクラス(夜間)：定員15名、鈴木庸裕教授(学校福祉・生活指導)

困難を抱える子どもや家族への個別援助と学校支援 - 教育・福祉・心理職のためのスクールソーシャルワーカー養成講座 -

Gクラス(夜間)：定員25名、内山登紀夫教授(児童精神医学)

広汎性発達障害を中心に、事例の診断・支援方法についての議論を中心に事例検討を行う。幼児期から学齢期のPDD、発達検査についての十分な知識と経験のある教師、臨床心理士、医師等を対象とするが、事例を提供できる方を優先する。

受講料: 年額 15,000円/クラス(9回、18時間分) **変更無し**

昼夜2クラスを受講する場合は、年額 30,000円(15,000円×2クラス)となります。

修了証: 年間の出席が7割以上の者に修了証を授与します。 **変更無し**

申込方法: 受講希望者は下記の申込書(コピー可)に記入の上、Eメール又は郵送・FAXで申し込んでください。メールで申込み場合は、申込書の各項目 ~ を本文に記載して送信ください。

平成23年3月31日(水)必着 平成23年4月22日(金)まで延長する。

送付先: 〒960-1296 福島市金谷川1番地 **変更無し**

福島大学総合教育研究センター 事務室 TEL 024-548-8110 FAX 024-548-6631

メールアドレス kyo-s@ipc.fukushima-u.ac.jp

結果通知: ~~選考結果は4月中旬までに下記申込書連絡先にご通知(郵送)いたします。~~

~~なお、受講可否通知にて受講料のお支払い方法をお知らせ致します。~~

選考結果及び受講料納付については、4月27日(水)頃に郵送等でお知らせする。

受講料は、原則「納付書による銀行振込」とするが、第1回(5/18)窓口支払も可とする。

平成23年度教育臨床研修講座 申込書 **変更無し**

平成23年 月 日

ふりがな 氏名・年齢			年齢 ()歳
勤務先 (H23.4.1以降)			職名
連絡先住所 該当する方に○をつけてください。	勤務先 〒 -		
電話・FAX等	電話	() -	
	F A X	() -	
	メールアドレス		
希望クラス	第1希望() 第2希望()	事例の提出	可・不可 該当する方に○をつけてください。 Gクラスは、可の方が優先となります。
受講経験	有・無 該当する方に○をつけてください。	過去6年間(H17~22年度)受講した経験がある方は、その年度とクラス名を以下に記入してください。 (年度 クラス)(年度 クラス)(年度 クラス) (年度 クラス)(年度 クラス)(年度 クラス)	
志望理由			

各クラスの定員に達した場合は、選考することがあります。